

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2012年度事業報告

I 概要

今年度はJHF各委員会の任期交代があり、多くの委員会で定員を上回る新委員が集まり、旺盛な活動が見られました。JHFを取り巻く環境を見ると、2012年末の政権交代を機に、経済に影響する大きな変化があり一時の現象にとどまらず今日に至るまで円安基調が続いています。この円安は輸入機材が中心となっているハング・パラの愛好者と輸入供給者には逆風となっております。しかし、これに伴う金融市場の活性化は、徐々に国民の消費意欲を刺激しているとされ、来年度に続くスカイスポーツの集客に期待したいところです。

2012年度はFAIの大陸選手権開催年度にあたり、パラグライディングと、同アキュラシー2種目のアジア選手権大会が行われました。今年度の初めに相次いで中国と台湾で行われた両大会では、日本チームが目覚ましい活躍をし多くのメダルを持ち帰りました。全国の皆さまも、ネット経由で刻々と伝わってくるニュースに、連日釘付けになったことと思います。

有効会員数の推移ですが、昨年度には年間登録者数は対前年上向き傾向となり、下げ止まりを予測しました。会費値上げ前の3年登録者の更新が一巡した為、2013年年初からは有効会員数は現実に下げ止まっています。しかしながら、会員実数が1万人を下回るくらいで底を打つことを期待していましたが、実際は8千人台にまで落ち込んでしまっており、JHFの基礎体力として早期の愛好者獲得が必要とされています。

1. 収支の現状

はじめに、長年にわたりJHFの監事を務め、公認会計士の目で公益法人化やその後の法人会計への指導をいただいていた、對馬和也さんがお亡くなりになったご報告をします。2012年12月4日、ご自宅で虚血性心疾患により突然逝去されました。ここにJHFに対する貢献への感謝と哀悼の意を表します。

2012年度の決算報告は予算では大きな単年度赤字を計画していたものに対し、昨年度同様の次期繰越金を計上するものとなりました。予算との乖離をもう少し圧縮できるよう、来年度予算案では配慮をいたしました。JHFの収支は、無駄な支出を避けつつ、必要な事業に的確な支出ができるよう経営しています。フライヤー会員数が横ばいであるうちは、これまで蓄えた資金を有効活用する方向での運営が公益社団法人として求められ、今後3～5年間は財務を健全に維持できる見込みです。

フライヤー会員の第三者賠償責任保険の契約は、ここ3年間でとってきた損害率改善の方策にもかかわらず、大きな損失を抱え保険金支払いによる赤字が継続する状況です。保険会社による保険引き受け拒否は、絶対に引き起こしてはならない事態として、対応しています。この為、今年1月から支払い保険料をこれまでの金額より増加させる措置を取りました。今年度への影響は3カ月分ですが、今後年間で保険料支払いは14%増となります。

当面の財務は、上述のように健全に経営されますが、不測の事態に陥らぬよう、事故の撲滅に取り組むことが必要です。

2. 普及振興事業の実施

- 1) 普及振興の一環として、第1回映像コンテストを実施、30作品の応募がありました。
- 2) 第2回JHFフォトコンテストを開催、248点の応募がありました。
- 3) JHFパラグライダー教本の教育課程に沿った操作を映像で提供するため、基礎技術DVDを制作しました。

- 4) 教員検定員により、教員・助教員の知識、技能の維持向上を行うことにより、JHF フライヤー会員へ安全フライトに関する啓蒙活動を推進するために、教員助教員更新講習会を各地で開催し10カ所 64名が受講しました。
- 5) 教員検定会にて、6名が新しく教員として活躍します。(PG 5名、HG 1名)

3. 特記事項

- 1) 第35回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月28日(土)～29日(日) 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 第18回スカイスポーツシンポジウムを協賛
12月8日(土) 日本大学理工学部・駿河台校舎
- 3) 金の星社「のりものしゃしん あいうえおのえほん」の「は」にハンググライダー写真を提供
- 4) NHK Eテレ番組「デザインあ」の「デッサンあ」でハンググライダーを提供

II 事項別状況

1. 組織

- (1) 会員数
 - ア 正会員 47名
 - イ フライヤー会員 8,641名(2013年3月末有効登録数)
 - ウ 賛助会員 8名
- (2) 役員構成
 - 理事 7名(内会長1名、副会長1名) 監事 1名(2013年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2012年	6月通常総会
開催通知	2012年4月 4日(水)
開催日	2011年6月18日(月) 11:00～17:00
開催場所	東京体育館 第一会議室 (東京都渋谷区千駄ヶ谷)

議案	報告事項1	2011年度事業報告について
	報告事項2	2011年度決算報告について
	決議事項1	貸借対照表及び損益計算書の承認について
	報告事項3	2012年度事業計画について
	報告事項4	2012年度収支予算について
	決議事項2	JHF役員選任規約の承認について

(2) 理事会

ア	第1回理事会	開催日	5月 8日(出:理事5、監事2 欠:理事2)
イ	第2回理事会	開催日	7月31日(出:理事4、監事1 欠:理事3、監事1)
ウ	第3回理事会	開催日	12月26日(出:理事6、監事1 欠:理事1)
エ	第4回理事会	開催日	3月12日(出:理事5、監事1 欠:理事2)
オ	文書理事会	開催日	7月 9日(出:理事7、監事2)
カ	文書理事会	開催日	1月15日(出:理事7、監事1)

* 2012年12月より対馬監事死亡により監事1名に変更

(3) 委員会

- ア ハンググライダー競技委員会 競技会開催時に実施
- イ パラグライダー競技委員会 競技会開催時に実施
- ウ 補助動力委員会 11/16、1/8
- エ 教員・スクール事業委員会 7/24、10/16、12/4
- オ 安全性委員会 6/5、12/4、2/19
- カ 制度委員会 5/8
- キ ハングパラ振興委員会 4/17、5/15、6/13、10/11、
12/4、2/13、3/25
- ク 役員選任実行委員会 12/4、2/13
- ケ 委員長理事合同会議 2/26

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）
（独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています）
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2012年度 6,146人（新規・更新）
2011年度 5,579人

(3) 技能証発行

ア HG： 157枚（2011年度 211枚）
イ PG： 1,029枚（2011年度 1,128枚）
ウ MPG： 25枚（2011年度 54枚）
エ レスキューリパック認定証 42枚

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG： 14件（内FAIカテゴリーI・II：2件）
イ PG： 33件（内FAIカテゴリーI・II：3件、体験会3件）
ウ HG・PG同時開催： 5件

(5) 競技会の開催

- ア HG：
 - 1 日本選手権
2012年4月28日～5月2日 山形県南陽市
参加40人（内女子7人） 不成立
 - 2 ハンググライダーシリーズ
有成績者数 82名 第1位 大門浩二
 - 3 ハンググライダーXCリーグ
有成績者数 1名 第1位 太田昇吾
- イ PG：
 - 1 日本選手権
2012年10月4日～8日 富山県南砺市つくばねエリア
参加72名（内女子13名）
日本選手権者：森山政男 女子：中目みどり
 - 2 アキュラシー日本選手権
2012年4月14日～15日 栃木県那須烏山エリア

参加29名（内女子6名）

日本選手権者：岡 芳樹 女子：雨宮有子

3 ジャパンリーグ（参加人数101名）

オープンクラス	1位：成山基義
オープンクラス女子	1位：中目みどり
スポーツクラス	1位：上山太郎
スポーツクラス女子	1位：中目みどり

ジャパン2リーグ（参加人数30名）

総合	1位：高田征広
女子	1位：高橋美佳

クロスカントリーリーグ（90本） 1位：竹内俊二

最長フライト 武貞伸明（128.6km）

アキュラシージャパンリーグ（参加人数35名）

スクラッチクラス	1位：岡 芳樹
スクラッチクラス女子	1位：東武瑞穂
ハンディキャップクラス	1位：吉富周助
ハンディキャップクラス女子	1位：矢野佐知江
ルーキークラス	1位：矢野 啓
ルーキークラス女子	1位：矢野佐知江

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア	スクールサイト登録校	145件	（うち新規登録校 10件）
イ	エリア情報掲載	176件	

(7) 海外関係団体活動

ア CIVL総会 2013年2月14日～17日
スイス 出席者：デレグイト 岡芳樹

イ ヨーロッパ関連団体との交流（5月14日～18日）

(8) 世界選手権へのチーム派遣

ア 第19回ハンググライディング世界選手権
参加選手：8名

2013年1月5日～18日 オーストラリア フォーブス

(9) その他

ア	機体型式登録	12件	(PG)
イ	機体情報登録	14件	(PG)
ウ	レジャー航空無線機貸与	延27件	1,499台
	デジタル無線機		107台
エ	AED貸出	9件	ポロジメーター貸出 2件
オ	フライヤーのための傷害保険「JHF総合保障制度」	加入者数：827名	

添付： 2012年度 委員会等活動報告補足

以上

< 2012年度委員会活動報告補足 >

ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施。
- 3) 第19回ハンググライディング世界選手権クラスIへの選手派遣
2013年1月5日～18日 オーストラリア
7名参加 個人 鈴木由路 32位、国別 第11位
- 4) 2012年日本選手権開催（南陽） 2012年4月28日～5月2日
40名参加。天候により不成立。
- 5) ハンググライディングシリーズ管理運営
1位：大門浩二、2位：板垣直樹、3位：太田昇吾
女子1位： 野尻知里
- 6) ハンググライディングXCリーグ管理運営
1位：太田昇吾（144.6km）

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第3回パラグライディングアジア選手権（中国、林州：5月24～6月2日）へ選手派遣（男子6名、女子1名）
アジア総合1位：上山 太郎、2位：ムンセオ・リム（韓国）、3位：平木 啓子
女子1位：平木 啓子、2位：ディ・ワン（中国）、3位：井川 絵美
国別1位：日本、2位：韓国、3位：インド
- 4) 第1回パラグライディングアキュラシーアジア選手権（台湾、外澳：6月12～18日）へ選手派遣（男子12名、女子3名）
総合1位：岡 芳樹、2位：アルディ・クミアワン（インドネシア）、3位：ケ・ヤン・リン（台湾）、
5位：横井清順、9位：東武 瑞穂、14位：川村 眞、21位：水野 良信、23位：山谷武繁、
32位：古賀光晴
女子1位：東武 瑞穂、2位：プライファ・トンドンブン（タイ）、3位：ミラワティ・シリ
ン（インドネシア）
国別1位：インドネシア、2位：日本、3位：台湾
- 5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理
・ Jリーグ結果（参加人数101名）
オープンクラス 1位：成山基義、2位：森山政男、 3位：上山太郎
オープンクラス女子 1位：中目みどり、 2位：伊藤弥生、 3位：井川絵美

スポーツクラス 1位：上山太郎、 2位：伊藤和寛、 3位：辻本恵一
スポーツクラス女子 1位：中目みどり、 2位：伊藤弥生、 3位：井川絵美
・ J 2 リーグ (参加人数 30 名)

総合 1位：高田征広、 2位：高橋美佳、 3位：青木和広
女子 1位：高橋美佳、 2位：橋本みさ紀、 3位：内田 薫

・ X C リーグ (90 本)

1位：竹内俊二 (387.8km)、 2位：加藤 豪 (366.9km)、 3位：中里 勝 (291.2km)
最長フライト：武貞伸明 (128.6km)

・ A J リーグ (参加人数 35 名)

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、 2位：横井清順、 3位：古賀光晴
スクラッチクラス女子 1位：東武瑞穂、 2位：矢野佐知江、 3位：雨宮有子
ハンディキャップクラス 1位：吉富周助、 2位：矢野 啓、 3位：矢野佐知江
ハンディキャップクラス女子 1位：矢野佐知江、 2位：雨宮有子、 3位：伊藤まり子
ルーキークラス 1位：矢野 啓、 2位：矢野佐知江、 3位：目黒 敏
ルーキークラス女子 1位：矢野佐知江、 2位：雨宮有子、 3位：伊藤まり子

6) 2012 年度日本選手権開催 (富山県南砺市つくばねエリア) 2012 年 10 月 4 日～8 日
タスク 3 本成立/4 日 72 人参加 規定により日本選手権として成立。

総合 1位：森山政男、 2位：川上賢一、 3位：上山太郎、 4位：中目みどり、 5位：若山朋晴、
6位：多賀純一

女子 1位：中目みどり、 2位：井川絵美、 3位：平木啓子

スポーツクラス 1位：中目みどり、 2位：伊藤和寛、 3位：井川絵美

7) 2012 年度アキュラシー日本選手権開催 (栃木県那須烏山エリア) 2012 年 4 月 14～15 日
6 ラウンド成立 29 人参加 規定により日本選手権として成立。

総合 1位：岡 芳樹、 2位：古賀光晴、 3位：日野政浩、 4位：山谷武繁、 5位：川村 眞、
6位：加賀山務

女子 1位：雨宮有子、 2位：東武瑞穂、 3位：橋本みさ紀

ハンディキャップ 1位：古賀光晴、 2位：岡 芳樹、 3位：日野政浩

ハンディキャップ女子 1位：雨宮有子、 2位：橋本みさ紀、 3位：内田 薫

安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) 運用経費の圧縮と効率的な運用を目的として、委員会の開催はメール通信による稟議で行った。
- 2) JHF ウェブサイトにおいて、安全管理情報の普及に役立つ事例集をブログリンク形式で掲載するために準備に入った
- 3) 安全セミナー開催のためのプログラム作りに取り組んだ
- 4) ハンググライダーの整備票を作成した
- 5) DHV・エアターコイズ・PMAへの訪問・調査を行った

教員スクール事業委員会 委員長 岩橋 亘

- 1) 教員検定会 PG 5名 HG 1名
- 2) 教員助教員更新講習会 10カ所 64名受講
- 3) PGテキスト改定について検討
- 4) HGテキスト作成について検討
- 5) 補助動力テキスト作成について検討(補助動力委員会と合同)
- 6) 安全セミナー開催のためのプログラム作りに取り組んだ

制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHF に関わる制度の定款、規約、規程、規則等の文書管理
- 2) 外国人旅行者に対する短期フライヤー登録の検討
- 3) 航空法に関する啓蒙 (JHFレポートに掲載)
- 4) 役員選任実行委員会のサポート
- 5) 「理事監事職務権と義務」に関する広報文書作成

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) MPGの災害や事故に対する連絡・通報・対応対策の見直し
- 2) フライヤー会員登録の推進
- 3) MPG教本の準備

ハングパラ振興委員会 委員長 芦川 雄一郎

- 1) 第1回JHF映像コンテストの実施
- 2) 第2回JHFフォトコンテストの実施
- 3) ハングパラ普及振興のための方策企画
- 4) パラグライダー動画、リーフレット作成中